

# POLE

北海道ポーランド文化協会  
創立 15 周年記念誌  
2003.12.25

発行  
北海道ポーランド文化協会  
〒 069-0851  
江別市大麻園町 28-18  
小笠原正明  
電話 011-386-3405  
FAX 011-387-9016

刊行にあたって

会長 灰谷慶三

私たちの「北海道ポーランド文化協会」が設立されたのは、一九八七年十月のことでした。従って、今年は設立満十六年を迎えたこととなります。この間私たちは、ささやかではありますが、地道に、例会という形で多方面にわたってポーランドの文化の紹介に努めてまいりました。その例会は今日までに四十六回を数えております。そのような活動の様子は会誌「ポーレ」を通して会員の皆様にお伝えしてきました。のみならず、会誌「ポーレ」は、それ自体が文学、歴史、美術、音楽、演劇、映画、種々の随筆、ポーランド旅行記、滞在記等の寄稿によって、多様なポーランド文化の諸相を具体的に分かりやすく、楽しく紹介してきたのでした。

今回、協会設立満十五周年を経たところで、これまでに五十三号を数える会誌「ポーレ」を読み返してみますと、その内容は実に多岐にわたり、充実しており、読みごたえのあるものであることが、改めて分かりました。そこで、これまで十五年間の活動の証として、そしてまた、次への活動のステップとして、「ポーレ」から抜粋した文章をまとめ、ここに刊行することとした次第です。

二〇〇三年十二月

**Bardzo mi miło!**

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| A. Dzień dobry!            | [ジェン・ドブリィ] こんにちは                       |
| B. Dzień dobry!            | [ジェン・ドブリィ] こんにちは                       |
| A. Czy pani Mary Brown?    | [ツイ・パニ マリー・ブラウン]<br>マリー・ブラウンさんですか?     |
| B. Tak, jestem Mary Brown. | [タク, イェステム マリー・ブラウン]<br>はい、マリー・ブラウンです。 |
| A. Jestem Tadeusz Nowak.   | [イェステム タデウシィ・ノヴァク]<br>私はタデウシュ・ノバックです。  |
| B. Bardzo mi miło!         | [バルヅォ・ミ・ミウオ] はじめまして                    |
| A. Bardzo mi miło!         | [バルヅォ・ミ・ミウオ] どうぞよろしく                   |

Pani は「～さん」に当たる言葉ですが、相手が女性の場合（既婚・未婚を問わず）に使います。相手が男性の場合には Pan [パン] を使います。

Bardzo mi miło は、初対面のあいさつには欠かせない表現です。「(お目にかかれて) とても・私は・うれしい」ということです。「はじめまして」「どうぞよろしく」にあたる表現です。

(22号・1993年3月)

**Dziękuję! — Proszę!**

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| Dziękuję! | [ヂェンクウイェン] ありがとう!  |
| Proszę!   | [プローシェン] どういたしまして! |
| Proszę!   | [プローシェン] どうぞ!      |
| Dziękuję! | [ヂェンクウイェン] ありがとう!  |

bardzo 「たいへん」、uprzejmie 「丁寧に、心から」、serdecznie 「心から」をつけると感謝の気持ちを強調したり、より丁寧にすることができます。

Proszę, Proszę bardzo は人に物を渡すときの「どうぞ」、人に許可を求められたときの返事の「どうぞ」にも用います。

〈例〉

Dziękuję bardzo (uprzejmie, serdecznie).

[ヂェンクウイェン バルヅォ (ウプシェイミィエ, セルデチニィエ)]  
どうもありがとうございます。

Dziękuję za wszystko.

[ヂェンクウイェン ザ フしいストコ] いろいろありがとう。

(25号・1994年5月)